

成女高等女學校長
宮田修

はならないであります。

[illegible]

多少地薄になり

ために皮膚の手段を働してやうにしなければなりません。
 昨年より高値
 は此の新法にては、腺移前等の要なく、單に飽満度の血液を移

半時間以内に多量飲ませ上

一、二子は三子より四子に劣る。

瘦せた女と

肥えた女と

吉岡節子氏筆「火」となりて松陰見ゆる焚火かな

外國産には

苦味がある

味が
細
針
に
無
い
雪
め
菓
子
は

入するには特別な價值を有する
として珍重せられてゐる
かたさとする
▽それを粉を敷いた組の上に販

100

100

總督府の宣傳映畫二つ

「月下の盟誓」と「復活への道」
宣傳映畫の職能（その一）

3

來活動寫眞は例の有名なジゴマ
來、教育家乃至は公安風俗取締
注意して極端なる場面を
たことはこれまでの事

物である(ゲート)

女を喜ばされた金子は、秘共の飯
 膳とならなければ親類となる（
 ホーレス）
 金子は偉大なマントをもつてゐる
 だがゴマの喉嚨が多数の不具少老、
 少女を出し、驚愕精進、それをも
 も喉嚨の喉嚨を立限する唯一の
 材料に使用され、驚愕を始める
 た。

١٠٠

27. The words "of the" are not necessary in the second part of the sentence. The word "the" is unnecessary.

1. The first part of the document is a title page. It contains the title of the work, the author's name, and the publisher's information.

衆議院議員當選者一覽表

——第五十回總選——

憲政會
政友會
革新俱樂部
本政友本黨
實業同志會
中、中、立

關東

東京府議員廿八人

本田 義成 (新選)
林田 龜太郎 (新選)
林田 勝太郎 (新選)
關 直彦 (新選)
高木 益太郎 (新選)
太田 信次郎 (新選)
磯部 尚 (新選)
宮崎 三之助 (新選)
安藤 正純 (新選)
作間 耕三 (新選)
矢野 弦吉 (新選)
古島 一雄 (新選)
中原 德太郎 (新選)
鳩山 一郎 (新選)
三木 武吉 (新選)
八木 武治 (新選)
石川 安次郎 (新選)
高木 正年 (新選)
土屋 興 (新選)
前田 米藏 (新選)
淺賀 兵衛 (新選)
中島 守利 (新選)
瀧沼 伊兵衛 (新選)
小島 證作 (新選)

神奈川縣議員十人

平沼 亮三 (新選)
大澤 忠三郎 (新選)
若尾 幾太郎 (新選)
小泉 又次郎 (新選)
小野 重行 (新選)
川口 義久 (新選)
山口 好雄 (新選)
上原 好雄 (新選)
山口 佐一 (新選)
平川 松太郎 (新選)

千葉縣議員十一人

志村 清右衛門 (新選)
瀧田 吉兵衛 (新選)
吉植 庄一郎 (新選)
本田 貞次郎 (新選)
今井 健彦 (新選)
關 和知 (新選)
土屋 清三郎 (新選)
森 益利 (新選)
木村 政次郎 (新選)
鈴木 隆 (新選)
野田 俊作 (新選)

埼玉縣議員十人

秦 豐助 (新選)
小島 善作 (新選)
神谷 彌平 (新選)
粕谷 義三 (新選)
松本 眞平 (新選)
山口 政二 (新選)
齋藤 桂次郎 (新選)
丸山 五郎 (新選)
石井 龍吾 (新選)
加藤 政之助 (新選)

群馬縣議員九人

清水 留三郎 (新選)
小村 彌七 (新選)
武藤 金吉 (新選)
飯塚 春太郎 (新選)
木村 三郎 (新選)
木暮 正一 (新選)
生方 大吉 (新選)
青木 精一 (新選)
井本 常作 (新選)

茨城縣議員十人

菊池 謙二 (新選)
山崎 猛 (新選)
宮本 逸藏 (新選)
大津 淳一郎 (新選)
石井 三郎 (新選)
内田 信也 (新選)
原 信次郎 (新選)
磯部 保次 (新選)
飯村 五郎 (新選)
小久保 喜七 (新選)

栃木縣議員九人

齋藤 太兵衛 (新選)
齋藤 四郎 (新選)
小島 正雄 (新選)
小島 七郎 (新選)
小島 經武 (新選)
高橋 元四郎 (新選)
阿由 義勝作 (新選)
高田 松平 (新選)
横田 千之助 (新選)

福島縣議員十一人

田邊 勝郎 (新選)
町野 武馬 (新選)
堀切 善兵衛 (新選)
紺野 九右衛門 (新選)
栗山 博 (新選)
菅村 太三 (新選)
金澤 安之助 (新選)
中野 寅吉 (新選)
八田 宗吉 (新選)
比佐 昌平 (新選)
佐藤 富十郎 (新選)

宮城縣議員七人

伊澤 平右衛門 (新選)
菅原 傳 (新選)
藤澤 幾之輔 (新選)
内ヶ崎 作三郎 (新選)
菅原 英伍 (新選)
尾 康平 (新選)
齋藤 仁太郎 (新選)

岩手縣議員七人

高橋 是清 (新選)
藤川 清助 (新選)
久慈 貫一 (新選)
熊谷 徹 (新選)
廣瀬 爲久 (新選)
志賀 和多利 (新選)
榎 潮軍之佐 (新選)

山形縣議員九人

佐々木 春作 (新選)
宮島 幹之助 (新選)
西澤 定吉 (新選)
高橋 龍太郎 (新選)
西村 利馬 (新選)
能谷 直太 (新選)
齋藤 金吉 (新選)
齋藤 三郎 (新選)
細和 三郎 (新選)

秋田縣議員八人

田中 隆三 (新選)
村山 喜一郎 (新選)
信太 儀右衛門 (新選)
町田 忠治 (新選)
井出 繁三郎 (新選)
神田 清兵衛 (新選)
神田 國平 (新選)
池田 龜治 (新選)

青森縣議員七人

藤 鐵男 (新選)
丁藤 三男 (新選)
金田 秀雄 (新選)
原田 秀次郎 (新選)
小泉 辰之助 (新選)
野村 治三郎 (新選)
浦山 助太郎 (新選)

北海道議員十六人

一柳 伸次郎 (新選)
山本 厚三 (新選)
佐々木 平次郎 (新選)
阪東 幸太郎 (新選)
栗林 五郎 (新選)
岡田 伊太郎 (新選)
神部 爲藏 (新選)
松實 喜代太 (新選)
東 武 (新選)
淺川 浩 (新選)
手代木 隆吉 (新選)

長野縣議員十三人

等原 忠造 (新選)
畔田 明 (新選)
松本 忠雄 (新選)
藤川 五郎作 (新選)
山本 恒平 (新選)
深井 功 (新選)
降旗 元太郎 (新選)
二木 洵 (新選)
植原 悦二郎 (新選)
岡部 次郎 (新選)
小川 平吉 (新選)

新潟縣議員十七人

松井 邦治 (新選)
山田 又司 (新選)

山梨縣議員九人

增田 義一 (新選)
山田 助作 (新選)
高橋 光威 (新選)
石塚 三郎 (新選)
加藤 知正 (新選)
建部 進吾 (新選)
吉原 義雄 (新選)
中村 貞吉 (新選)
石黒 大次郎 (新選)

富山縣議員七人

高見 之通 (新選)
荒井 健三 (新選)
石坂 豊一 (新選)
寺島 權藏 (新選)
上野 安太郎 (新選)
野村 嘉六 (新選)
石原 正太郎 (新選)

石川縣議員六人

永井 柳太郎 (新選)

各黨派別

憲政會 一五二名
政友會 一〇四名
革新俱樂部 三二名
政友本黨 一一八名
實業同志會 八名
中立派 四八名
總數 四百六十二名
(本社編輯局調査)

福井縣議員六人

堀 喜幸 (新選)
米原 於菟男 (新選)
室木 彌次郎 (新選)
青山 憲三 (新選)
佐藤 實 (新選)

靜岡縣議員十三人

松本 君平 (新選)
中村 四郎兵衛 (新選)
宮崎 友太郎 (新選)
平野 光雄 (新選)
岩崎 勲 (新選)
鈴木 富士彌 (新選)
松浦 五兵衛 (新選)
三橋 四郎次 (新選)

山梨縣議員九人

永田 善三郎 (新選)
倉元 要一 (新選)
山本 勝次 (新選)
小泉 義太郎 (新選)
黒田 重兵衛 (新選)

岐阜縣議員十人

河崎 助太郎 (新選)
武藤 嘉門 (新選)
青木 知四郎 (新選)
高木 善藏 (新選)
井上 孝成 (新選)
山田 道一 (新選)
佐々木 文一 (新選)
古澤 隆隆 (新選)
牧野 良三 (新選)
愛知 (新選)

小松縣議員七人

尾崎 行雄 (新選)
竹原 機一 (新選)
川崎 克重 (新選)

京都府議員九人

鷲野 太太郎 (新選)
森田 茂 (新選)
片岡 直温 (新選)
田崎 信藏 (新選)
川崎 安之助 (新選)
長田 桃藏 (新選)
木村 豊吉 (新選)
村上 國吉 (新選)
吉村 伊助 (新選)

大阪府議員十人

前野 芳藏 (新選)
高井 次郎 (新選)
高井 友造 (新選)
田中 讓 (新選)
吉津 慶 (新選)
廣瀬 徳藏 (新選)
清瀬 一郎 (新選)
武藤 山治 (新選)
沼田 嘉一郎 (新選)
山本 芳治 (新選)

奈良縣議員五人

關 俊吉 (新選)
福井 甚三 (新選)
馬場 義興 (新選)
八木 逸郎 (新選)
大岡 繁三郎 (新選)

近畿

森田 金藏 (新選)
折原 己一郎 (新選)
田中 武雄 (新選)
中島 興丸 (新選)
前田 房之助 (新選)
下岡 忠治 (新選)

和歌山縣議員六人

中村 啓次郎 (新選)
岡崎 邦輔 (新選)
岡田 豊吉 (新選)
松山 常次郎 (新選)
中村 越 (新選)
田淵 豊吉 (新選)

滋賀縣議員六人

兼松 實太郎 (新選)
井上 敬之助 (新選)
高井 商二 (新選)
堤 康次郎 (新選)
藤澤 萬九郎 (新選)

鳥取縣議員四人

谷 義治 (新選)
谷口 源十郎 (新選)
山崎 義長 (新選)
三好 榮次郎 (新選)

島根縣議員七人

佐藤 三郎 (新選)
櫻内 幸雄 (新選)
原 夫次郎 (新選)
木村 小左衛門 (新選)

兵庫縣議員八人

砂田 重政 (新選)

四國

平田 民之助 (新選)
依 孫一 (新選)
古川 清次 (新選)

德島縣議員六人

海原 清平 (新選)
町田 佐治 (新選)
谷原 公三 (新選)
生田 和久 (新選)
高島 兵吉 (新選)
秋田 清吉 (新選)

香川縣議員七人

田中 定吉 (新選)
三浦 清之助 (新選)
戸澤 長十郎 (新選)
小西 和 (新選)
三下 忠造 (新選)
山下 谷次 (新選)
松田 三徳 (新選)

愛媛縣議員九人

杉 宜陳 (新選)
成田 榮信 (新選)
阿田 温 (新選)
河上 哲太 (新選)
村上 紋四郎 (新選)
小野 寅吉 (新選)
高山 長幸 (新選)
佐々木 長治 (新選)
太宰 孫九 (新選)

高知縣議員六人

中谷 貞頼 (新選)
濱口 雄幸 (新選)
大石 大太 (新選)
傍士 定治 (新選)
下元 康之助 (新選)
小野 義一 (新選)

山口縣議員九人

秋田 實之助 (新選)
古林 新治 (新選)
兒玉 右二 (新選)
渡邊 祐策 (新選)
藤田 包助 (新選)
大岡 育造 (新選)
長岡 外史 (新選)
吉木 陽 (新選)
永田 新之丞 (新選)

九州

福岡縣議員十九人

中野 正剛 (新選)
古林 喜代太 (新選)
内野 辰次郎 (新選)
阪井 大輔 (新選)
吉田 磯吉 (新選)
河波 虎太郎 (新選)
野田 卯太郎 (新選)
山口 恒太郎 (新選)
中村 清造 (新選)
青柳 郁次郎 (新選)
大里 廣次郎 (新選)

熊本縣議員十人

山崎 達三 (新選)
有馬 顯華 (新選)
山崎 達三 (新選)
大内 暢三 (新選)
大内 暢三 (新選)
坂内 哲 (新選)
宮崎 松次郎 (新選)
神崎 勲 (新選)

鹿兒島縣議員十一人

床次 竹二郎 (新選)
岩切 重雄 (新選)
原 耕三 (新選)
前田 兼實 (新選)
藏田 三四郎 (新選)
東 幸治 (新選)
寺田 正三 (新選)
津崎 尙武 (新選)
東 邦 (新選)
濱田 精藏 (新選)
神 苗代 (新選)

大分縣議員八人

箕浦 勝人 (新選)
金光 庸夫 (新選)
木下 謙次郎 (新選)
吉良 元夫 (新選)
中野 猪之助 (新選)
元田 肇 (新選)
松田 源治 (新選)
重松 重治 (新選)

佐賀縣議員六人

副島 義一 (新選)
加藤 十郎 (新選)
田口 文治 (新選)
西 英太郎 (新選)
川原 茂輔 (新選)

健胃固腸丸

家庭の常備薬
旅行の常備薬
大塚谷回春堂
全国各薬店に販賣中

下痢腹痛

はに力胃腸

懷中藥王

藥は品質を
保つて
最も品質
無類の香木

地に転移することとなつた。
 米豆輸出激減
 米豆輸出に於ける朝鮮米豆輸出額は
 昭和十五年一千九百六十六噸
 金穀類七十九萬噸の三百九
 二十五萬噸を總額、穀類四百
 萬噸、米穀二百一十二萬噸の二百
 萬噸、大豆二百一十二萬噸の二百
 萬噸、在留穀類六百七十七噸の三

[illegible][illegible]

るを以て、**正米**と云ふものゝ云はねば
其の時期に入つたものと云へばならぬ
とならぬと然し穀氣の豊富によると
正米に正米が附かないからと云ふか
正米は定置程に上げて居ないから
下高も失却される譯で必ずしも
正米が失却に至れるものとは
なへない殊に今歲に於ける未刈穀の

田原嘉三郎
六匁八千八百石
計 三二一九〇〇石

京城穀物

正米現物 政商議
上條
米安と金値の堅固感等にて

九月版 第三十二
 十月版 第三十三
 十一月版 第三十四
 發行高八四・三三〇・一九九
 正貨準備三四・二七〇・七八三・五
 銀價狀況 (十三日)
 限外發行

吉印
 特設
 販売
 部

京染 京 城 本 町 三 丁 目
 まらぎ屋
 租 本 三 〇 六 八



清城日報

廣五號字詰一打壹字
 告五號同特別字詰二號
 金七字詰同字詰四號
 發行兼編入混谷良次
 印刷 小川三之
 京阪太平通一丁目
 發行所合資會社京域日報
 電話長崎番 夏田
 振解京阪三〇〇番

發行所
東京四谷區
新宿二丁目五一
電話四谷五十一番
振替東京五六一四七番

聚芳閣

三刀
四回

晋信案上如山

第四十五版發行
發行所 東京下谷 天業民報社
電話 小六九九九 振替東京二五
大取次 東京堂上田屋北隆館東海堂 各書林

六九八九〇 振替東京一

發兌
東京神田今川小路三ノ九
番
電話二四三七番

答曰

を受益に多し

資料也(經濟法研究會)

一四

を受益に多し

資料也(經濟法研究會)

一四

將來有望なる
編物の時代

オリーブスエター・シャツ・手袋・スカート
子供服・肩掛靴・下其他種々

無料教授所新設

毛糸編物は實用品であります。是を安價に作るには機械を應用して
能率を増すより外はありません。
弊店に販賣してあります。編物機械に依れば小資本で製造販賣として
立派に營業出來ます。
男女十三四歳以上なれば容易に學ぶ事が出來ます。機械の使用
法は凡そ一週間の練習で充分です。
(注意) 編物機械使用法解説書などは絶対習ふ事不可能です。
矢張り實地教師に依つて教授受けなければ出來ません。
弊店に於て販賣している羽根果機械は代金安くして永久使用に絶
えず手近にて御購入なされば何處と御便利の上に無料教授受けられ
ます。詳細は御來店被下されば御説明いたします。

京城府南門通二丁目九番地
各種リヤス機械
諸雜貨卸問屋

大瀬戸勝兵衛商店機械部

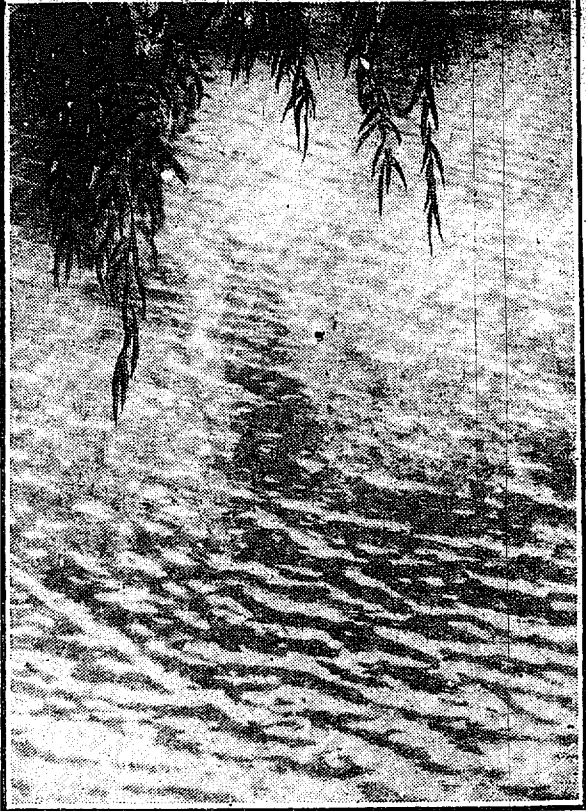
電話 東京 九七九
電報 九七九
支店 〇九七九
支店 〇九七九

日本人の密輸入者

密輸入者の中には、日本人の名義を借りて、外国産の米や砂糖などを密輸入している者が多い。これらは、税関の検閲を逃れ、国内市場に流入している。政府は、このような密輸入を厳しく取り締まると警告している。

これでも生きられるか
一月の収入六圓六十銭
府警長屋に住む労働者の冬の生活 京城府の調査

府警長屋に住む労働者の冬の生活。京城府の調査によると、一月の収入は六圓六十銭に過ぎない。これでは、家族の生活が非常に厳しい。特に冬になると、暖房費や食料費が増え、生活はさらに苦しい。調査は、府内各地の労働者を対象に行われ、その生活実態が明らかになった。



▲▲▲▲▲みなのさ

小雨に濡れて
總督對岸を視察
惠山鎮のお祭騒ぎ

小雨に濡れて、總督對岸を視察。惠山鎮のお祭騒ぎ。總督一行は、惠山鎮を訪れ、お祭りの様子を見学された。雨模様の中、賑やかな祭りの雰囲気が伝わってきた。總督は、民衆の生活に親しむ機会を得たと述べられた。

二十歳の令嬢が
英佛海峡を泳ぎ渡る
女流水泳の第一人者
南米のハリセン嬢

二十歳の令嬢が、英佛海峡を泳ぎ渡る。女流水泳の第一人者、南米のハリセン嬢。彼女は、驚異的な水泳技術で、海峡を横断することに成功した。この偉業は、世界中の注目を集めた。彼女の勇気と努力は、多くの人々に激励を与えている。

手占指の女
女優難のこ
總督府の活動写真班

手占指の女、女優難のこ。總督府の活動写真班。女優の不足を補うため、手占指の女が活動写真班に参加した。彼女の演技は、大々的に賞賛された。この取り組みは、活動写真の発展に貢献している。

京城に
労働協會
近々發會式舉行

京城に労働協會、近々發會式舉行。労働者の権利を守るため、京城に労働協會が設立される。発會式は、大々的に開催される予定だ。これは、労働運動の発展に重要な一歩となる。

大谷光陽師
密月の旅
智子新妻方と

大谷光陽師、密月の旅。智子新妻方と。大谷光陽師は、密かに旅に出かけた。その旅の顛末は、多くの人々の関心を集めている。特に、智子新妻方との関係が注目の的となっている。

七月一日までに
渡米者二千五百名
船がなくて乗り切れぬ

七月一日までに渡米者二千五百名、船がなくて乗り切れぬ。渡米希望者が多く、船の不足が問題となっている。政府は、船の増強を急いでいる。渡米希望者は、焦りを覚えている。

海外へ行け！
移民思想大宣傳
教科書まで作って
児童へも吹き込む

海外へ行け！移民思想大宣傳。教科書まで作って、児童へも吹き込む。移民を奨励するキャンペーンが、学校でも展開されている。教科書に移民に関する内容が盛り込まれている。

花電車運轉せぬ
多くの金が要るから
造らぬと政府事務官

花電車運轉せぬ、多くの金が要るから。造らぬと政府事務官。花電車の運轉には、多くの資金が必要とされている。政府は、そのコストを削減するために、運轉を中止する方針だ。

淡路の仇波……
投身美人に結ばる
哀れなロマン

淡路の仇波……投身美人に結ばる。哀れなロマン。淡路の仇波と、投身美人の物語は、多くの人々の心を捉えている。その悲劇的な結末は、読者の涙を誘っている。

この頃の
圖書館
毎日の入館者
百五、六十名

この頃の圖書館、毎日の入館者百五、六十名。圖書館の利用者が多く、読書熱が盛んになっている。これは、市民の文化意識の高まりを示している。

演藝案内

大正館	原山新	松竹逸	中央館
花嫁	花嫁	花嫁	花嫁
花嫁	花嫁	花嫁	花嫁
花嫁	花嫁	花嫁	花嫁

クラゲン

純粉乳末

世界最良

